

官民連携事業の推進のための地方ブロックプラットフォーム
「サウンディング」
案件登録様式

■ 記入票

項目	記入欄
1. サウンディング情報	
①団体名	鹿児島県出水市建設部西回り道・防災道の駅推進課
②事業名	(仮称) 道の駅「出水」整備事業
③本事業の現在の検討ステージ ※該当する番号に○ (いずれか一つ)	1.事業発案 2.事業化検討 <u>3.事業者選定</u> 4.その他 ()
④サウンディングの目的	○南九州西回り自動車道の供用開始に合わせ、本線の上り、下り線から直接アクセスできる道の駅を整備予定です。本自動車道の利用者だけでなく、一般道から地元の方も利用できます。 ※本線駐車場と一般道駐車場の往来は不可(大規模災害時は除く。) ○熊本県と鹿児島県の県境という地理的特性や、高速道路から直接アクセスできる機能性を活かし、周辺市町を含めた広域的な「防災・防疫」拠点となります。 ○施設規模 敷地面積：約 39,000 m² 床面積：地域振興施設 1,900 m²以上 情報発信・休憩施設及び屋外トイレ 470 m² 駐車場：上り線用 小型 71 台、大型 16 台、EV 2 台 下り線用 小型 71 台、大型 16 台、EV 2 台 一般道用 小型 82 台、大型 5 台 従業員・物販搬入用 20 台 ○事業手法として、現在 PPP-DBO 方式による事業者募集の準備をしており、11/15 から実施方針(案)・要求水準書(案)を公表する予定です。 ○令和7年4月(予定)の事業者募集に向け、募集要項等の作成の参考とさせていただくため、意見や助言をいただきたい。
⑤民間事業者に対する質問事項	○現在の本市の計画で、事業参入の障壁・懸念となる事項があれば御教示ください。 ○公募開始から事業契約(令和7年12月(予定))までのスケジュールや、事業契約から運営開始までのスケジュールについて、懸念点や御意見をお伺いしたい。 ○地元事業者とのマッチング支援を11月22日から予定していますが、県外事業者と地元事業者とのマッチングを促す上で効果的なアイデアがあれば御教示ください。
⑥対話を希望する業種 ※該当する番号に○ (複数可) 注) 希望する業種の事業者の参加を確約するものではありません	1. 設 計 2. 建 設 3. 不 動 産 4. 金 融 機 関 5. 維持管理 6. コンサルタント 7. 運営 () 8. その他 ()

⑦対話を希望する事業者 の事業展開エリア ※該当する番号に○（複数可） 注）希望する規模の事業者を確約するものではありません	1.全国展開している事業者 2.当該エリア外の事業者 3.地元事業者 4.その他（ ）
2. 事業概要 （1）基本情報	
①事業の分野 ※該当する番号に○（複数可）	1. 公 有 財 産 利 活 用 2. 都 市 公 園 3. 観 光 施 設 4. 教 育 ・ 文 化 関 連 施 設 5. 賃 貸 住 宅 ・ 宿 舎 等 6. 廃棄物処理施設・斎場 7. インフラ施設（ ） 8. その他（ ）
②事業の種類 ※該当する番号に○（複数可）	1.新設 2.建替え 3.改修 4.維持管理・運営 5.その他（ ）
③想定する事業類型 ※該当する番号に○（複数可）	1.サービス購入型 2.収益型 3.混合型 4.その他（ ）
④想定する事業の手法 ※該当する番号に○（複数可） ※PFI 事業方式（BTO、RO等）が具体的に決まっている場合、「1.PFI 事業」の（ ）内に記載ください。	1.PFI 事業（ ）方式 2.DBO 方式 3.包括的民間委託 4.指定管理者制度 5.コンセッション 6.Park-PFI 7.土地の賃貸借 8.建物の賃貸借 9.その他（ ）
⑤事業内容 ※事業の内容を簡潔にご記入下さい	出水市では、南九州西回り道自動車道（以下「西回り道」という。）の全線開通に合わせて、西回り道から直接アクセスできる地域活性化施設（道の駅）を計画しています。 （仮称）道の駅「出水」は、鹿児島県のゲートウェイとして、高速道路利用者にとって快適な休憩ポイントとなる癒しとくつろぎの場を提供するだけでなく、観光等の情報発信や多様な特産品販売等により西回り道の開通効果を地域全体に波及させる「地方創生拠点」となる施設を目指しています。 本事業は、（仮称）道の駅「出水」を整備し、その維持管理・運営を行うものであり、官民連携（PPP手法-DBO方式）を前提とした整備・運営を目指しています。 今後、実施方針（案）、要求水準書（案）を公表し、事業者の皆様からの質問や意見を募集する予定（11/18～11/29）です。 予 定 地：鹿児島県出水市下鯖町地内 敷地面積：約 39,000 ㎡ 床 面 積：地域振興施設 1,900 ㎡以上、情報発信・休憩施設及び屋外トイレ 420 ㎡、防災備蓄倉庫 100 ㎡ 駐 車 場：上り線用 10,900 ㎡、下り線用 7,330 ㎡ 一般道用 7,230 ㎡
⑥現状及び課題	○本市及び周辺地域は、農業を基幹産業とし、様々な農畜産物を産出しています。また、ツル越冬地や出水麓武家屋敷群等、イ

	ンバウンド需要が見込める魅力的な観光地を保有していますが、全国的な知名度が不足していることから、地域の魅力を発信できる施設が求められています。 ○南九州西回り自動車道の供用は、沿線自治体のみならず、周辺地域にとっても地域経済活性化の起爆剤となります。
⑦前提条件 ※事業化にあたって事業者考虑到してほしい事項等を簡潔にご記入ください	○本道の駅は、無料区間の高速道路から直施アクセスできる単独型の「道の駅」として全国初の事例となります。 ○また、有事の際は広域的な「防災・防疫」拠点としての役割を担うため、行政との連携・協力が必要です。 ○情報発信・地域振興業務では、出水市及び一般社団法人 出水市観光特産品協会との連携が必要です。 ○利用者のターゲット 高速道路利用者及び地域住民 ○施設の所有形態 公設民営（DBO 方式） ○用地取得 現在、用地協議を進めており、今年度中に概ね用地取得を完了する予定 ○敷地の造成 敷地の造成までは、従来手法で市が整備します（令和 8 年 12 月完了予定）。 ○高速道路との取付 南九州西回り自動車道からの取付道路（ランプ）は、国交省に受託工事で実施していただいています。 ○一般道路の整備 本道の駅への一般道路からのアクセス道路となる市道平松上広域線の改良工事は、令和 10 年度末までに完了予定。完了後は広域農道からの出入りも可能となります。 ○広域連携 本道の駅の整備に当たっては、周辺の自治体（伊佐市、長島町、さつま町、水俣市）と出水広域連携・防災「道の駅」整備推進協議会を設立し、要望活動を行うとともに、運営後も連携・協力して地域経済全体に開業効果を波及する道の駅を目指します。 ○需要予測・経済波及効果 今年度、国交省の先導的官民連携支援事業（情報整備支援型）を活用して、本道の駅の需要予測、経済波及効果の調査を実施
⑧事業スケジュール（予定）	令和 7 年度 事業者選定、契約、基本設計 令和 8 年度～令和 10 年度 詳細設計、建設工事、開業準備 令和 10 年度中に開業予定
（2）対象地	
①所在地（交通情報含む）	鹿児島県出水市下鯖町地内（米ノ津駅から徒歩 20 分）
②敷地面積	39,000 m ² （高速道路との接続道部を含む）
③土地利用上の制約	特定用途制限地域（田園居住地区）建蔽率 70%、容積率 400%
④所有者	民地（市で買収予定）

⑤周辺施設等	1km 圏内に、野間之関跡（観光地）、米ノ津東小学校及び附属幼稚園、米ノ津運動公園が立地
⑥対象地周辺の環境	果樹園（温州みかん・でこぼん）・牧草地
⑦その他 （上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等）	出水市地域活性化施設「道の駅」整備予定地の立地特性 ○南九州西回り自動車道の最寄りの IC は、（仮）出水北 IC から南へ 1.5 km の、出水 IC から北へ 3.0 km ○直近の高速道路上の休憩施設である宮原 SA・美山 PA 間、約 130 km のほぼ中間に位置しており、鹿児島方面に行く人は鹿児島県の玄関口の休憩所として、熊本方面に行く人は、鹿児島県のお土産を買う最後の場所として立ち寄る可能性が高い場所です。 ○丘陵地で、周囲は果樹園等の農地に囲まれており、八代海や天草諸島等を臨む良好な眺望景観を有しています。

■ 添付資料

①計画地の位置図、DBO 方式収益区分、道の駅が備えるべき機能や諸施設一覧